



2021年度版 (2020年度実績分)

# 健康スコアリングレポート

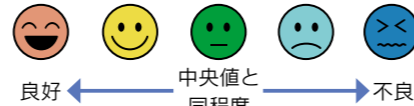
## 家族健診、特定保健指導は必ず受診しましょう！

健康スコアリングレポートとは、加入者の健康状態や健康づくりの取り組みを、全健保組合平均や業態平均と比較して「見える化」したもので、「健康の通信簿」です。健保組合では、この情報を事業主と共有し、みなさまへの予防・健康づくりの取り組みに活用していきます。

\*本レポートは厚生労働省、経済産業省、日本健康会議が協働して作成した2020年度データのもので、すべての健保組合に通知されています。

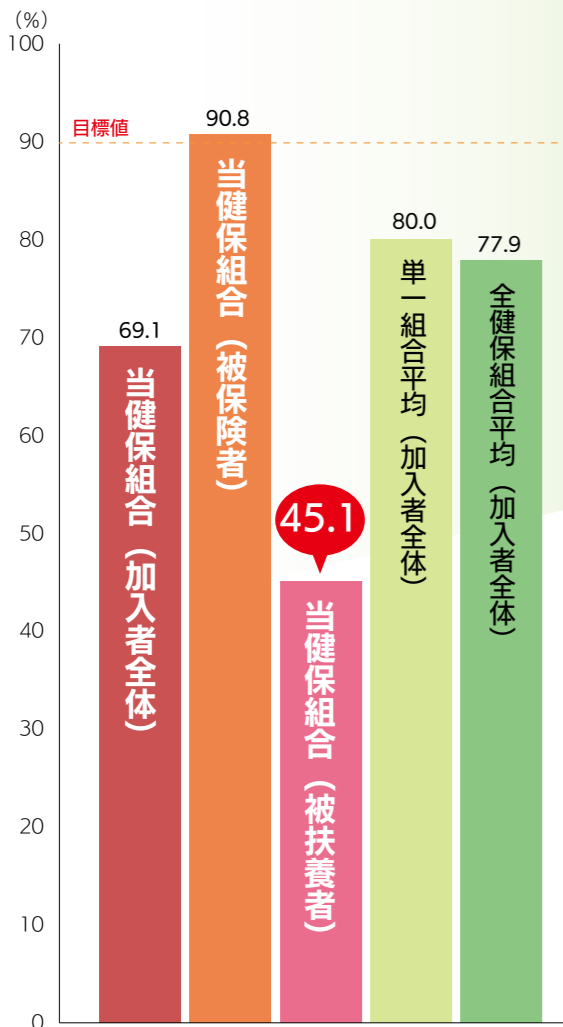
### 顔マークの見方

全健保組合平均を100とした際の各健保組合の相対値を高い順に5等分し、「良好😊」から「不良😞」の5段階で表記しています。



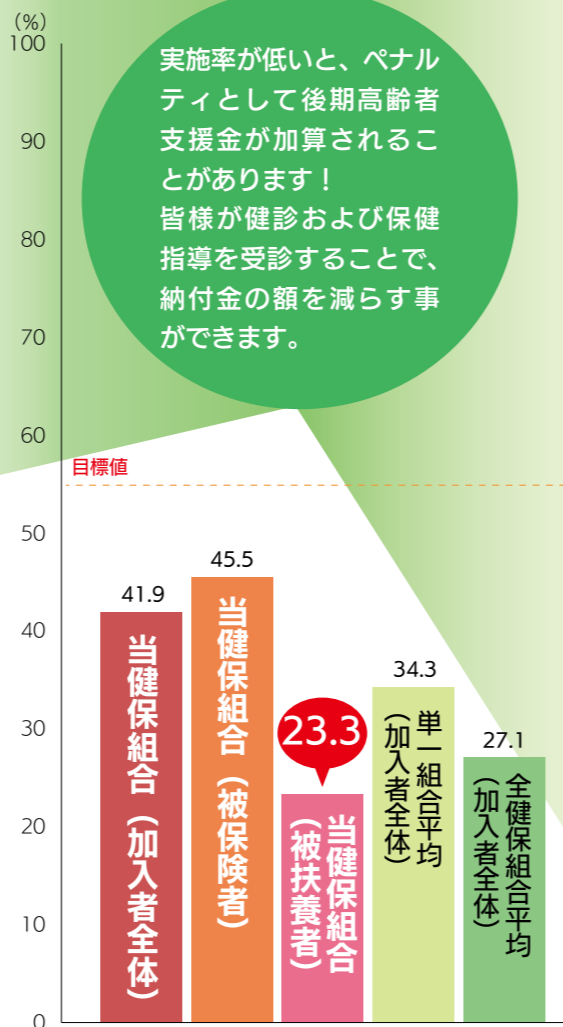
### 特定健診の実施状況

被保険者の受診率は目標を上回っていますが、コロナ禍の影響もあり家族健診（家族・任意継続・特例退職者向け健診）の実施率が低く、全体の実施率を下げています。



### 特定保健指導の実施状況

被扶養者の低さが目立ちます。また、全体で平均は上回っているものの、目標値と約13%の開きがあります。



実施率が低いと、ペナルティとして後期高齢者支援金が加算されることがあります！皆様が健診および保健指導を受診することで、納付金の額を減らす事ができます。

スコアリングレポートは、「すこやかサポート Plus」に掲載しています。ログイン後、各種情報「データヘルス」から参照ください。  
<https://ibm-ssp.sukoyaka-support21.com/psn/>



### ●年1回、健診で体の状態をチェックしましょう！

被扶養者のみなさん、日々忙しく過ごすなか、健診の受診をつい後回しにしているませんか？

メタボリックシンドローム予防を目的とした40歳以上の方が対象の「特定健診」は、被保険者は90%以上（現役社員は95%以上）受けているものの、被扶養者の方は45.1%にとどまっています。

家事・育児・介護などが最優先で自分のことは後回しになりがちですが、もし倒れてしまったら、ご家族はもっと困ってしまいます。自分のため、ご家族のため、年に一度は健診を受けましょう。

### 任意継続・特例退職者および19歳以上の被扶養者の健康診断

受診時期に関わらず、お申し込みはお早目に！

健康診断のお申し込みは済んでいますか。

2021年度の受診控えの反動により、2022年度の申込みは集中することが予想されます。

また、がん健診（胃がん・乳がん・子宮がん）は希望者が多く予約が取りづらな状況です。健診機関によっては日程がかなり先になる可能性があります。申し込みを先延ばしにせずお早目にお申込みください。



健診の項目、追加できるがん検診、申込方法については、同封のチラシをご覧ください。



### お問い合わせ先

(公財)パブリックヘルスリサーチセンター  
家族健診ヘルプデスク

☎ 03 - 3808 - 1707

✉ [toiawase-kazoku@helpdesk-kenpo.jp](mailto:toiawase-kazoku@helpdesk-kenpo.jp)

電話受付時間 9:00 - 17:00 (土日祝日および休業日を除く)

### ●特定保健指導の案内が届いた場合は必ず受けて生活の見直しを！

#### 特定保健指導のメリットって？

→ 無料で健康になるためのアドバイスが受けられます！

特定健診を受けた40歳以上の方のうち、メタボリックシンドロームのリスクが高い方を対象に、「特定保健指導のご案内」をお届けしています。

特定保健指導では、無料で保健師、管理栄養士などの専門家による、健診結果の説明とその人にあった生活習慣改善のアドバイスが受けられます。

特定保健指導を受けた人々には、実際に次のような成果が出ています。

体重 1.54kg 減      腹囲 1.73cm 減

※2018年度→2019年度での検査値の変化（モデル実施者）いずれも平均値

第1回「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」資料より作成

